

●小林 精三氏

国立小山工業高等専門学校建築学科卒業後、現在のNTTファシリティーズである電電公社東京電気通信局建築部に入社。

平成16年にNTTファシリティーズコンストラクションマネージメント部に所属され、以後公共工事・国内外の民間工事における発注者の建築コンサルタントとしてプロジェクトをサポート。

日本コンストラクションマネージメント協会では、平成27年から4年間理事を務められ、コンストラクションマネージメントの普及と発展に尽力。

平成17年からは軽井沢町に在住となり、今年3月にNTTファシリティーズを退職。

設計20年、コンストラクションマネージメント20年の計40年の建築に携われた実績から、発注者・受注者両方の視点で事業の分析を行い、助言いただくことを期待して採用。

●原 裕介氏

早稲田大学大学院を修了後、株式会社栗生総合計画事務所、デザインオフィス nendo(ネンド)を経て、株式会社デザインキット一級建築士事務所を設立。

事務所における設計活動の傍ら、東京大学の特任助教として建築・都市の実践的研究を行い、また福島県田村市に設立されたアーバンデザインセンター田村(UDCT)では、副センター長を勤め、地方小都市におけるまちづくりを実践。

平成28年からは千葉大学予防医学センター 健康都市まちづくり分野特任准教授として公衆衛生学、建築学、都市計画学、地理学分野等の視点から研究をされており、平成30年から軽井沢に在住。

地方自治体との協働や、複雑多岐なステークホルダーとの対話が求められるプロジェクトに携わった経験を持ち、都市計画やまちづくりの視点から町全体を俯瞰的に理解し、助言いただくことを期待して採用。